

2022年12月2日

「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」の開催について ～ 鑑賞者 400 名を無料ご招待 ～

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、公益財団法人福岡文化財団（理事長 久保田 勇夫）との共催により、地域で継承されている神楽や神舞を紹介する「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」(以下「本公演」)を開催しますので、お知らせします。

本公演に鑑賞者 400 名を無料ご招待しますので、鑑賞ご希望の方は下記要領にてお申込みください。

記

1. 開催概要および鑑賞申込要領

日 時	2023年2月18日（土）15:00～17:00（開場 14:30）
会 場	大濠公園能楽堂（福岡市中央区大濠公園 1-5）
出演団体	神舞／櫛田神社（福岡市博多区） 神楽／山内神楽講（豊前市）、横瀬神楽講（みやこ町）、唐原神楽講（上毛町）
招待者数	400名（要事前申込 全席指定 入場無料）
申込方法	1. WEB の場合 URL : https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_303/index.do より必要事項を入力のうえお申込みください。 2. ハガキの場合 ご来場者全員の①氏名 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥年齢 ⑦メールアドレスを明記のうえ、お申込みください。1枚でお二人さままでお申込み頂けます。 3. FAX の場合 チラシ裏面の「FAX 専用お申込み用紙」に記入のうえ、お申込みください。 ※チラシは西日本シティ銀行の各店舗に設置しています。
申 込 先	〒810-0001 福岡市中央区天神 1-4-1-10F 西日本新聞イベントサービス内 「日本の神様と舞い踊ろう」事務局 宛 FAX:092-731-5210
申込締切	2023年1月13日（金）必着 ※当選者には2月初旬に招待券をお送りします。応募多数の場合は抽選とし、招待券の発送をもって発表とかえさせていただきます。
主 催	西日本シティ銀行、公益財団法人福岡文化財団
後 援	福岡県、福岡県教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

2. 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応

会場では来場者へのマスク着用の徹底や入館時の体温測定などを実施し、感染拡大防止対策に努めます。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
公益財団法人福岡文化財団 事務局 北川・清家 TEL 092-473-6777



日本の神様と 舞い踊るろり

地域に根付く神楽と神舞

鑑賞者無料ご招待(全席指定)〈400名様〉

令和5年2月18日〈土〉

- ◆ 15時開演～17時終演予定(開場14時半)
 - ◆ 会場…大濠公園能楽堂(福岡市中央区大濠公園1番5号)
- 【参加団体】… 櫛田神社(福岡市博多区)／山内神楽講(豊前市)
横瀬神楽講(みやこ町)／唐原神楽講(上毛町)



[主催] 公益財団法人
福岡文化財団
THE FUKUOKA CULTURAL FOUNDATION

ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行



[後援] 福岡県、福岡県教育委員会、公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団

昨年の映像を
こちらからご覧いただけます。



◆ 参加団体のご紹介(順不同) ◆

< 神 舞 >

榊田神社／福岡市博多区 【演目】「浦安の舞(うらやすのまい)」

榊田神社は奈良時代の757年に創建され、古来より博多の総氏神として商売繁盛・不老長寿の「お榊田様」として博多っ子から親しまれています。現在の社殿は、天正15年(1587年)に豊臣秀吉公が博多復興にあたり、建立寄進したものです。特徴としては、三つの宮(三座)で成り立っており、博多を代表する夏祭「博多祇園山笠」は祇園宮(素盞鳴大神)、「博多おくち(秋祭)」は大神宮(天照皇大神)、「博多節分」は榊田宮(大幡主大神)と、各々に大祭があり現在でも全て氏子で奉仕されています。その他にも博多の歴史や文化を伝える「博多歴史館」や樹齢一千年を越える「榊田のぎなん」などが存在します。

< 神 楽 >

山内神楽講／豊前市 【演目】「御先(みさき)」

福岡県豊前市の山内地区に鎮座する嘯吹八幡神社を本社として、明治11年頃には現在の氏子による神楽講が活動をしていたといわれ、坪根市太郎という優れた技能を持つ神楽舞の存在が大きな役割を果たしました。社家である初山家には江戸時代から近代にかけての神楽関係の古文書が残され、当時の奉納の様子や明治時代以降、氏子による奉納が行われるようになったことなどを知ることができます。また、毎年4月に行われる「清原神事」で演じられる湯立神楽は、豊前神楽の古式の設えを今に伝える極めて貴重なものです。

横瀬神楽講／みやこ町 【演目】「弓神楽(ゆみかぐら)」

赤幡神楽の流れをくむ神楽で、自然の恵みを願い「雨乞いには欠かせない」神楽としても親しまれています。戦後、一時期途絶えましたが地元の有志により復活しました。昭和50年に保存会が発足し、舞い手も観衆も楽しめる神楽を目指し、地域と共にある神楽として広く親しまれています。京都郡みやこ町の若宮八幡神社を本社としています。

唐原神楽講／上毛町 【演目】「米舞(こめまい)」

明治30年代後半に、三十三番神楽の奥義を極めたとされる「佐知の佐助」こと広沢松次郎氏により、下唐原 貴船神社の氏子へと伝承されたのが始まりです。年間15ヶ所ほどの神社で神楽の奉納を行い、イベントなどへの出演など勢力的に活動しています。現在、「唐原子ども神楽」を結成し、神楽の継承にも努めています。

お申込み方法

令和5年

1月13日(金)必着

1枚で2名までお申込み頂けます。ご来場者全員の①氏名 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥年齢 ⑦メールアドレスを明記の上、お申込みください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

● ハガキ

宛先

〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1-10F 西日本新聞イベントサービス内「日本の神様と舞い踊ろう」事務局

● WEB

インターネットをご利用の方は、下記フォームよりお申し込みいただけます。(PC・スマホ応募可能)

https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_303/index.do

スマホの方は
コチラから



● FAX (FAX送付先:092-731-5210)

FAX専用お申込み用紙

※このまま切らずにお送りください。

招待券送付先	■フリガナ	■年齢	同伴者様	■フリガナ	■年齢
	■お名前			■お名前	
	■ご住所 〒			■ご住所 〒	
	■電話番号	— —		■電話番号	— —
	■メールアドレス			■メールアドレス	

●ご記入いただいた個人情報は、本イベントの運営以外には使用いたしません。 ●当選者には2月初旬に直接招待券を発送し、発表とかえさせていただきます。

※会場・鑑賞に関する注意事項

会場では、ご来場者および公演関係者の健康と安全を最優先とし、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に努めます。

- 少しでも体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えくださいますようお願い申し上げます。
- 必ずマスクを着用の上、ご来場及びご鑑賞ください。マスクを着用されていない場合、入場をお断りいたします。
- 当日、受付時に検温を実施いたします。37.5℃以上の場合は入場をお断りいたします。
また開催日の2週間以内に37.5℃以上の発熱、新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触があった場合のご来場はご遠慮ください。
- 入場時に必ず、手指の消毒をお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、指定席以外でのご鑑賞はお断りいたします。
- ロビーなどでは密を避け、他のお客さまと出来るだけ距離を取っていただきますようお願いいたします。
- 今後の社会情勢等により、やむを得ず急速プログラムの変更や公演を中止にする場合がございます。

お問合せ

西日本新聞イベントサービス内
日本の神様と舞い踊ろう事務局

TEL 092-711-5491 (平日のみ 9:30~17:30)